

2011 年 6 月 1 日

宮城県・七ヶ浜町災害見舞

東京練馬西ライオンズクラブ L 関口 正雄

東京駅を朝 9 時の新幹線にて仙台に向い、同伴者は東京練馬西ライオンズクラブの会長芹沢 L・幹事加藤（良）L・新メンバーの加藤（和）L と私 L 関口の 4 名。この旅は私にとって非常に緊張感のある出発でした。その理由は東日本の大地震から 2 ヶ月半を経過し、現地の 332-C 地区ガバナー田畑英伍 L と毎日の様に電話し、自衛隊と協力し、大型車 9 台を仙台方面（南三陸・七ヶ浜・青葉町）に運び、地元の災害地の中でも主に災害の大きい地区のガバナーの協力で物資を供給することが出来ました。仙台駅を降りると、地区ガバナー田畑英伍・会計渡邊晴子 L・副幹事渡邊俊弥 L が迎えに来て下さいました。

昼食をごちそうになり、仙台市の塩釜港の災害地を地区ガバナー田畑 L の案内で見て廻りました。この惨状はまさに地獄絵の中を走っている様に、テレビや新聞の報道とは比較をなりません。その中を通して七ヶ浜町役場に向い、渡邊善夫町長と 20 分間町の惨状と今後の問題点の説明を受けました。話を聞いているうちに本当に胸が痛みました。今後、私達も長期にわたって復興に協力しなければいけないと感じました。

当クラブの芹沢会長より町長に 50 万円の義援金を渡し、町長より感謝状をいただきました。又、帰りには、地区ガバナー田畑 L より当クラブの会長への感謝状をいただくことが出来まして、心より感謝しています。